

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2018年2月1日木曜日 23:14
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年2月1日発行

◆ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年2月1日発行 ◆

【シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回の参加申し込みがスタートしました】

詳細は、

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

を御参照下さい。ホームページからの参加申し込みができます。

多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】なごや環境大学共育講座 ごきそテクノカフェ『漆喰は生命を守ります』のご案内【New】

【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【参加申込受付中】

【4】第151回定例研究会／見学会のご案内【申し込み方法掲載】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 2018/3/3（土）10:00～（見学会） 13:00～（シンポ）
会場：栄ガスビル
- 第151回定例研究会／見学会 2018/3/4（日）松阪市の丹生鉱山と立梅用水（10:00 松阪駅集合）
参加費 3000円（バス代・保険代・手土産代を含む）
- 第26回総会・第152回定例研究会 2018/05/19（土）予定 13:00～17:00 名城大学校友会館会議室予定
- 産業考古学会 2018年度総会 2018/05/25-27 栃木県足尾で予定

【2】なごや環境大学共育講座 ごきそテクノカフェ『漆喰は生命を守ります』のご案内【New】

名古屋工業大学ごきそ技術士会では、一般向けの講座として、JR鶴舞駅高架下の喫茶サンデンにて毎月「なごや環境大学共育講座ごきそテクノカフェ」を開催しております。

2018年2月10日の開催分は、漆喰屋さんの社長をお招きし、漆喰に関する貴重なお話をお伺いします。産業遺産にご興味のある皆様にも参考になるお話では無いかと思いますのでご案内致します。

【2018年2月10日土曜日開催】

テーマ：『漆喰は生命を守ります』

内容：主に葺や城などに使われてきた漆喰には、抗菌・調湿・消臭など優れた作用があります。そのしくみや漆喰の成分、また古くから日本に伝わる工法から、健康で快適な住環境を考えます。

今回は外部の専門家を講師としてお迎えして、普段は聞く機会がなかなか得られないお話を致します。

講師：福田 正伸（株式会社漆喰九一 社長）

今回は滅多に聞くことのできない貴重なお話を外部の専門家をお招きしてお伺いする機会を設けます。また、質疑応答も適宜行うようにします。できるだけ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会場 喫茶サンデン 2階
(JR 鶴舞駅高架下商店街 中程 JR 鶴舞駅下車徒歩 2 分)

時間 13:00~15:00 (受付:12:30~)

参加費 500 円 (資料代+コーヒー代)

参加申し込みは不要ですから、直接、喫茶サンデンにおいで下さい。

ご案内のホームページ

<https://www.n-kd.jp/calendar/lineup/koza17a/B-61.html>

【3】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【参加申込受付中】

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回を次の通り開催致します。

参加申し込みの受付を開始しました。会員の皆様、会員外の皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

にございます。

また、参加申し込みフォームへのリンクも上記ホームページにございます。

テーマ 「名古屋テレビ塔の新たな旅立ち ―ランドマークとしてのこれまでとこれから―」

名古屋テレビ塔は、昭和 28 (1953) 年 9 月から着工され、翌 29 (1954) 年 6 月竣工開業した日本初の集約電波塔です。戦後復興のシンボルでもあるこの塔は、名古屋中心部のランドマークとして欠かせないものになり、市民の多くに親しまれています。この設計者の内藤多伸博士は、耐震構造の父と称され、大正期の関東大震災にも耐えた歌舞伎座や、戦後の東京タワーも含めて生涯に 60 以上の塔を構造設計し、塔博士とも称されます。名古屋テレビ塔は平成 23 年 7 月 24 日には「テレビ塔」としての役割を終えましたが、国の登録有形文化財にも登録されており、価値の高い存在です。そのため、新しい耐震基準に適合させる改修免震工事が計画されています。その準備の中で多数の資料が再認識されました。

今回、この資料調査を通して、内藤多伸博士の足跡を含め、私たちは名古屋テレビ塔の記録継承すべき歴史について認識を深めたいと思います。

そして、今後の修復や保存、さらに活用の仕方などを、参加者のみなさんと共に考えましょう

日時 2018 年 3 月 3 日 土曜日 13:00~16:45 (受付:12:00~)

会場 栄・ガスビル 5階キングルーム (定員 132 名)

参加費 資料代+会場費 会員・学生・後援団体関係者 1,000 円、一般 1,500 円

見学会 シンポジウム当日の午前中にテレビ塔の見学会を実施。申し込み多数の場合は抽選。

定員 40 名 (第 1 班:10:00~ 20 名、第 2 班:10:30~ 20 名)

見学会参加費:500 円 (見学会参加費のみ現地にて参加費を集めます)

懇親会 17:30～19:00 参加費：5000 円
場所：栄ガスビル 地下1階「しら河」
定員：24 名

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

を御参照下さい。

【4】第151回定例研究会／見学会のご案内【申し込み方法掲載】

2018年3月4日開催の第150回定例研究会／見学会は、2017年10月29日に台風で中止となった産業考古学会の全国大会の見学会で行く予定であった丹生鉱山と立梅用水などの見学を致します。詳細は次の通りです。

2018/03/04（日） 10:00、松阪駅西口集合、1530 松坂駅現地解散

10:00、松阪駅集合、マイクロバスで出発

10:45、丹生鉱山坑口あと

11:20、立梅用水（塔ノ本トンネル、ビオトープ周辺）

11:50、勢和町郷土資料館（水銀関係コーナー）

12:30、立梅用水井堰（井堰横の「道の駅茶倉駅」で昼食休憩を兼ね見学、弁当持参）

13:30、中電波多瀬発電所（初期のフランス水車展示）

14:40、櫛田川突堤（長大な石積突堤）

15:30、松阪駅着、現地解散

参加費 3000 円（バス代、保険、手土産等含む） 当日集金

申し込み方法

必要事項を書いたFAXかメールで申し込みすること。定員25名になり次第締め切る。

必要事項：①氏名、②住所、③連絡先、④生年月日、⑤所属

申し込み先：天野武弘 FAX 0533-85-1010（FAX専用）

E-mail: amano-ta07@pro.odn.ne.jp



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。

このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには [csih+unsubscribe@googlegroups.com](https://groups.google.com/ unsubscribe@googlegroups.com) にメールを送信してください。

<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。

その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。